

平成24年3月26日

公益財団法人 笹川記念保健協力財団
理事長 紀伊國 献三 殿

神奈川県足柄上郡中井町井ノ口1000番地1
一般財団法人 ライフ・プランニング・センター
ピースハウス病院
院長 西立野 研二

平成23年度ホスピス緩和ケアドクター養成研究事業助成
に係わる報告書の提出について

標記について、下記のとおり報告いたします。

記

1. 研究・研修事業 平成23年度ホスピス緩和ケアドクター養成研究事業
2. 期間 平成23年4月1日 ～ 平成24年3月31日
3. 報告書 I 事業の目的・方法
 II 内容・実施経過
 III 成果
 IV 収支報告
 ① 助成金の使途
 ② 当該助成金に関わる部分の決算書
 (提出予定日 平成24年5月初旬日)
 V 研修修了者報告書

以上

報告書

一般財団法人ライフ・プランニング・センター
ピースハウス病院
院長 西立野 研二

I 事業の目的

本事業の目的は、ホスピス緩和ケアに従事することを志望している医師が、指導医の下で主治医として実務に従事しながら、ほすびす緩和ケアを習得することができるようにそのプログラム及び実践の場を提供することであると理解している。

研修者には、病態生理学、精神神経薬理学、症状マネジメント、患者・家族のケア、コミュニケーション・スキリング、スピリチュアル・ケアなど緩和ケア全般について段階的に習得することを期待している。尚、当院の医師研修プログラムは日本緩和ケア協会、日本緩和医療学会の提示する医師用緩和ケア教育カリキュラムに準拠したものである。

養成対象の医師については、申込書類及び院長との面接に基づき決定する。同一期間には原則として1～2名の研修者を受入れる。

II 内容・実施経過

研修者は他職種の新採用者とともに着任時オリエンテーションを受ける。本財団や当院、地域の概要を知るとともに、医師業務のみならず多職種業務やボランティア活動を体験的に知る為のものであり、合計4日にかかる。初期3ヶ月間は、前任医師の指導下に医療業務に従事し、当直業務にも就く。この期間に当院多職種教育プログラムのレベルⅠ及びⅡの大半を達成することを目指す。

次の9ヶ月間には、担当医として主に入院患者、外来診療、往診も分担し、入退院検討委員会、診療管理会議にも参加する。

当院では研修者もスタッフの一員として活動することを求めている。病院行事、集会、各種委員会のみならず、財団全体全体の行事や、全国並びに地域の緩和ケア関係の活動にも積極的に関与することを望んでいる。

III 成果

本年度研修者の斎藤英一医師は、臨床医として既に経験は豊富であり、この1年間の当院における研修は十分達成できたと考えられる。多職種、特に、看護師、ボランティアからの評価も高い。

今後、当院で常勤医師として勤務することが決まっている。自己研修の要素が多い教育プログラムのレベルⅢの研修を継続するとともに、緩和ケアに関する教育・研究にも積極的に関与することを期待する。